

大学の世界展開力強化事業(2020年度選定) 広島大学 取組概要

【事業の名称】(選定年度2020年度・(タイプA②))

南北アフリカとの互恵的パートナーシップ構築のためのトライアングル海外学習プログラム

【交流推進事業の概要】

- 本学と北アフリカ4大学及びサブサハラ地域の2大学と共同で「トライアングル海外学習プログラム」を構築し、アフリカのニーズと本学のシーズ及び強みが交差する「教育」、「保健医療」及び「食料安全保障」の専門教育を中心とした学生交流プログラムを実施
- 質の高い経済発展を主導するとともに、日本とアフリカ間だけでなく、多様なアフリカ地域間の架け橋となり、多国間の国際的協調においてリーダーシップを発揮できる高度グローバル人材を日本とアフリカ双方に育成

【交流プログラムの概要】

<オンラインによる共同学習>

- 広島大学・アフリカ6大学合同のCOIL型教育

<広島大学生の派遣>

- STARTアフリカ(学部学生対象の短期派遣)
ザンビアに1週間、その後エジプトに1週間滞在し、現地学生との交流を含めたSDGsをテーマとした現地学習
- セメスター留学(大学院生対象の1学期間の交換留学)
ザンビア大学又はマラウイ大学にて、教育学、保健医療又は食料安全保障の専門教育を履修
その後エジプトに渡航し、現地短期研修に参加

<交流大学からの受入れ>

- セメスター留学(大学院生対象の1学期間の交換留学)
広島大学にて、教育、保健医療又は食料安全保障の専門教育を履修
その後ザンビアに渡航し、現地短期研修に参加

【本事業で養成する人材像】

- 「教育」、「保健医療」又は「食料安全保障」のいずれかを専門とし、日本と北アフリカ、サブサハラ地域の架け橋となる人材に必要な6つのコンピテンシー(異文化理解、リーダーシップ、協調性、コミュニケーション、研究応用力、成果志向)を備えたグローバル人材。
- <派遣学生>日本とアフリカに加えて、アフリカ地域の多国間の互恵的パートナーシップ形成に貢献するファシリテーターとして、アフリカの質の高い成長を実現するための社会変革に貢献する人材
- <受入れ学生>アフリカが抱える課題解決のために、アフリカ地域の多国間の互恵的パートナーシップ形成においてリーダーシップを発揮し、アフリカ自身の成長を実現するための社会変革を主導する人材

【本事業の特徴】

- アフリカを質の高い経済成長へ導く「教育」、「保健医療」及び「食料安全保障」の3分野の専門家の育成
- 日本と北アフリカ、サブサハラ地域の3か国・地域を跨ぐ「トライアングル海外学習プログラム」の構築
- 留学の質及び成果を高める事前・事後教育の実施及び平和学習及び日本語学習機会の提供
- アフリカで展開する日本企業、国際機関及び地元自治体と連携したフィールド学習
- 既存の「JICA海外協力隊ザンビア特別教育プログラム」を発展させた、将来的な連携学位プログラムの横展開

【交流予定人数】

		2020	2021	2022	2023	2024
派遣	実際に渡航する学生		16	16	16	16
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	0	26	26	26	26
受入	実際に渡航する学生		8	8	8	8
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	8	48	48	48	48



トライアングル海外学習プログラム

